

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	グルーミング学ⅠA（保定）	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマーの実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	犬の扱い方、基本的な保定方法の習得。	
授業の到達目標	学科で学んだ保定法を中心に様々な犬種・性格の犬を扱い、その犬に合う保定法を実践習得する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	積極的に生体での復習をすること。（犬舎犬）	
使用教科書・教材・参考書	グルーミングの基礎（一般社団法人 日本動物専門学校協会）、プリント	
授業上の注意点	実習の際は基本的に犬舎犬を使用しますが、モデル犬で行う場合もあります。	
授業計画（内容）		コマ数
ケージから犬を安全に出す方法 様々なサイズ・タイプの犬の抱き方、渡し方の基本を身につける		1
ケージ～使用道具～教室まですべてにおける基本的な掃除（消毒）について習得する		1
①ブラッシング②コーミング 正しい道具の使い方・作業法・保定法を学ぶ		2
①爪切り②耳そうじ 正しい道具の使い方・作業法・保定法を学ぶ		3
シャンプー・ブロー 正しい犬の洗い方～乾かし方を学ぶ		4
基本部位のクリッピング（足裏・腹部・肛門周り） 正しい道具の使い方・作業法・保定法を学ぶ		4
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	グルーミング学ⅠB(器具訓練)	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマーの実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	・ 各器具の使用目的、使い方、正しい固定方法を学ぶ。	
授業の到達目標	・ 基礎実技をしっかりと身に付ける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	自主トレーニングをすること。	
使用教科書・教材・参考書	グルーミングの基礎（一般社団法人 日本動物専門学校協会）	
授業上の注意点	習得には個人差があるため、時間数が追加される場合があります。	
授業計画（内容）		コマ数
グルーミングに必要な道具の知識や使い方を理解・習得する。		1
スリッカー・ピンブラシ・コーム・鉗子・爪切りの扱い方の習得		2
鉗の扱い方の習得 鉗を持ち、位置の確認（目的：指の安定） 鉗を持ち、動かす訓練（目的：鉗の固定）		7
トリミングウィッグのカットをする。		5
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	グルーミング実習ⅠA	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマーの実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	162 コマ	10 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	グルーミング技術の習得。 犬種ごとに安全なグルーミングを出来るようにする。	
授業の到達目標	基本のグルーミング・ベーシック・クリッピング技術を習得し、目標時間内に仕上げる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	担当犬のカルテを事前にチェックする。 実習終了後はトリミング記録を記入し提出する。	
使用教科書・教材・参考書	グルーミングの基礎（一般社団法人 日本動物専門学校協会）	
授業上の注意点	モデル犬の予約状況により、内容が変更する場合がある。	
授業計画（内容）		コマ数
グルーミング技術の習得① ブラッシング、コーミング、爪切り、耳そうじ		40
グルーミング技術の習得② シャンプー、ブロー		40
グルーミング技術の習得③ 基本的なクリッピング法を学ぶ（足裏・腹部・肛門周り）		4
グルーミング技術の習得④ 基本的なトリミング法を学ぶ（足周り・ヒゲ切り）		4
小型犬のグルーミングを1人で1頭仕上げる（チワワ・ダックス・パピヨンなど） 基本作業の技術向上と共に1人での保定法を身に付けていく。時間を意識した作業を行う。		20
中型犬のグルーミングを1人で1頭仕上げる（コーギー・シェルティ・柴など） サイズの大きい犬を1人で扱うことで更なる保定法・犬の扱いを学ぶことが出来る。		4
大型犬のグルーミングを2人で1頭仕上げる（ゴールデンレトリバー・秋田犬など） 作業の効率UPを考え2人で協力し実習を行う。		10
クリッパーワークの習得（ボディ・顔バリ・足バリ）		4
プードルのグルーミング技術の習得（ブロードライニングの技術を身につける）		10
2人で小型犬のグルーミングを1日2頭仕上げる。		6
中型犬・大型犬のグルーミングを効率よく行い時間短縮し仕上げる事が出来る。		10
実技試験に向けた模擬テスト トイ・プードルなどの長毛種のグルーミング作業を90分で仕上げる事が出来る。		6
猫のグルーミング技術の習得		4
合 計		162
授業単位数		10

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	グルーミング実習ⅠB	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマーの実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	30 コマ	2 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	一般的なトリミング犬種のトリミング方法を学ぶ。	
授業の到達目標	基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カッティング技術を習得し、目標時間に仕上げる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	担当犬のカルテを事前にチェックする。 実習終了後はトリミング記録を記入し提出する。	
使用教科書・教材・参考書	グルーミングの基礎（一般社団法人 日本動物専門学校協会）	
授業上の注意点	モデル犬の予約状況により、内容が変更する場合がある。 実習着の着用厳守、頭髪をまとめる、爪は短く、過度なメイクは禁止。 モデル犬の飼い主様に接する際は、あいさつをしっかりと行う。 会話や返事は声を出してすること（顔だけでしない）。	
授業計画（内容）		コマ数
無駄毛のカットなどの簡単なトリミングが出来る。（ダックス・チワワ・パピヨンなど）		1
胸・アンダーライン・お尻周りのカットが出来る。（ポメラニアンなど）		1
直線的なカットが出来る。		1
各部分の接点部を基本に基づきつなぎ合わせることが出来る。		1
各犬種のカット手順・方法を完全に覚える（テディベア・シーズー・ヨーキー・マル・MIX）		1
ケネル&ラム・クリップのカット手順・方法を覚える。		2
ミニチュアシュナウザーのカット手順・方法を覚える。		1
2人で1頭を最後まで仕上げる事が出来る（カット犬種のグルーミング、トリミング理解・習得）		10
1人で1頭を最後まで仕上げる事が出来る（カット犬種のグルーミング、トリミング理解・習得）		6
実技試験に向けて時間配分・仕上げが出来る。（ペットクリップ2時間以内）		6
合 計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	しつけ・行動学Ⅰ	
担当教員の実務経験	ペットショップにて実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	犬や猫を扱ううえで必要となる基礎的な内容を学ぶ	
授業の到達目標	基礎的な犬や猫のしつけやトレーニング方法を学ぶ	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第2巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
第1章 発達過程と社会行動 第1節 発達ステージと各時期の行動学的特徴 第2節 生殖行動 第3節 コミュニケーション行動 第4節 敵対行動と親和行動		3
第2章 学習理論 第1節 学習とは何か 第2節 正得的な行動と学習した行動 第3節 学習の種類 第4節 刷り込み 第5節 行動や学習に影響を与える因子		3
第3章 犬のしつけの基本 第1節 犬のしつけとは何か 第2節 犬の基本的なしつけ方 第3節 基本的なトレーニング法		3
第4章 室内飼育猫のしつけの基本 第1節 はじめに 第2節 猫の行動と習性 第3節 室内飼育のすすめ		3
課題集を解く		3
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	ペットビジネス総合実践ⅠA（店舗・イベントプロデュース）	
担当教員の実務経験	① 企業内広報部において、マーケティングリサーチ・分析・企画・広告・宣伝活動ならびに広報広告物およびWEBページの制作の経験がある。 ② 商品販売（ならびにアドバイザーとして）の経験がある。 ③ ペットショップにて実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	47コマ	3単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	① マーケティング・販売学を応用し、ワークショップの出店を計画する。利益追求、消費者心理、サービスから広告戦略など多方面から分析し、企画した“ビジネス”の成功を目指す。 ② イベントの企画から運営までを実際に体験しノウハウを身につける。 ③ グループワークで各自が役割に対する責務を果たすことによりチーム全体の力を発揮することができることを体得し、グループの中での個の在り方を認識する。自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し客観的評価ができる。	
授業の到達目標	① 作り上げた店舗にて多方面から顧客心理に寄り添った店舗企画ができる。 ② イベントの企画から運営までを実際に体験しノウハウを身につける。 グループワークで各自が役割に対する責務を果たすことによりチーム全体の力を発揮することができることを体得し、グループの中での個の在り方を認識する。自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し客観的評価ができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	進捗状況により時間外にも作業に取り組む場合があります。その場合は取得時間数に反映させます。	
使用教科書・教材・参考書	適宜、必要資料を配付	
授業上の注意点	イベント企画内容は例年の内容にて掲載しています。 感染症拡大防止の観点により、イベントの中止が判明した場合は課題を変更いたします。	
授業計画（内容）		コマ数
イベントとは？意義と目的について、プランニングと運営について考える		1
企画会議		1
店舗企画※ワークショップ（コンセプト、商品、POP制作、空間プロデュース）		17
（制作・仕入れ／グループワーク）		
（広報・宣伝活動）		
（運営管理※当日）		5
イベント企画		17
（昨年度からの改善点、イベント内容の検討）		
（運営シミュレーションと分析）		
（主催者との打ち合わせ）		
（リスクマネジメント）		
（制作・仕入れ／グループワーク）		
（広報・宣伝活動）		5
（運営管理※当日）		
結果の分析（レポート）		1
合計		47
授業単位数		3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	ペットビジネス総合実践ⅠB（店舗・イベントプロデュース）	
担当教員の実務経験	① 企業内広報部において、マーケティングリサーチ・分析・企画・広告・宣伝活動ならびに広報広告物およびWEBページの制作の経験がある。 ② 商品販売（ならびにアドバイザーとして）の経験がある。 ③ ペットショップにて実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	60コマ	4単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	マーケティング・販売学を応用し、ワークショップの出店を計画する。利益追求、消費者心理、サービスから広告戦略など多方面から分析し、企画した“ビジネス”の成功を目指す。 具体的な企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために必要なプロセスとプランニングに時間軸を敷き、実際のイベント企画・運営を通して顧客満足度からリスク管理までを体系的に学ぶ。	
授業の到達目標	作り上げた店舗にて多方面から顧客心理に寄り添った店舗企画ができる。 イベントの企画から運営までを実際に体験しノウハウを身につける。グループワークで各自が役割に対する責務を果たすことによりチーム全体の力を発揮することができることを体得し、グループの中での個の在り方を認識する。自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し客観的評価ができる。 ★チームの中の個の在り方と責務を理解し、一員として行動することができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	当日までは様々なアクシデントが生じる可能性があります。それによって企画の変更等が生じた場合は放課後に別途コマを追加します。	
授業計画（内容）		コマ数
店舗企画※ワークショップ（POP制作、空間設計、仕入れをグループで実行）		30
（広報・宣伝活動を実行）		8
（リハーサル）		10
（運営管理※当日）		5
店舗企画結果の分析（レポート）		1
（運営管理※当日）		5
イベント企画結果の分析（レポート）		1
合 計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	マーケティング・販売学	
担当教員の実務経験	① 企業内広報部において、マーケティングリサーチ・分析・企画・広告・宣伝活動ならびに広報広告物およびWEBページの制作の経験がある。 ② 商品販売（ならびにアドバイザーとして）の経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	34コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	① 販売やサービスの基本となるマーケティングについて理論を学ぶ。 ② 理論で学んだことを、実際の店舗展開（ワークショップ）にて実践を行い利益と顧客満足の両方を追求することで体得する。	
授業の到達目標	マーケティングの基礎理論を理解する。	
成績評価方法と基準	最終レポートにて、計画～実践結果までの事実を正しく分析できているか。 出席率70%以上。	
準備学習・時間外学習	市場に興味を持つことから理解を深めるため、市場調査ならびに商品研究は学習時間外にも調査することを求めている。	
使用教科書・教材・参考書	適宜、必要資料を配付。	
授業上の注意点	提出物の期限は守ること。	
授業計画（内容）		コマ数
マーケティングとは何か		2
消費者の購買行動		2
市場調査		4
商品研究		4
商品企画・商品計画		4
販売計画・販売価格		4
仕入計画		2
店舗計画		4
商品管理		2
売上管理		2
広告・宣伝		4
最終レポート		2
合計		34
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	愛玩動物学	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマー、生体販売の実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15 コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	猫や小動物、鳥類や爬虫類の種類や飼養管理について学習する。	
授業の到達目標	生理や生態を理解し、幅広い知識を身につける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 ペットの飼養管理	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
猫とはどんな動物か 猫の分類と歴史 猫の品種 猫の特徴		3
ウサギの特徴・飼養管理		2
ハムスターの特徴・飼養管理 モルモットの特徴・飼養管理 フェレットの特徴・飼養管理 チンチラの特徴・飼養管理		3
愛玩鳥の適切な飼養管理方法 鳥類の飼養管理概論 インコ・オウム類の飼養管理 フィンチの飼養管理 ニワトリ・アヒル・ハトの飼養管理 鳥の繁殖（巣引き） 手乗り鳥として飼養する		2
爬虫類の適切な飼養管理方法 ムカシトカゲ目 ワニ目 カメ目 有隣目トカゲ亜目 有隣目ヘビ亜目		2
課題集を解く		3
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	犬種総論	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマー、生体販売の実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15 コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	・ 各犬種の名称、スタンダード、歴史の基本を学ぶ ・ 各グループ分けについてのルーツを学ぶ	
授業の到達目標	スタンダードの知識を習得し、適切なアドバイスができるようになる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	最新犬種図鑑 愛玩動物飼養管理士2級教本	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
犬とはどんな動物か 犬の分類と歴史 犬の特徴 血統書について		1
使役動物の歴史と福祉 補助犬の歴史と現状 補助犬の役割と育成 その他の使役犬の種類と現状		1
第1グループ シープドッグ&キャトル・ドッグ（スイス・キャトル・ドッグを除く）		1
第2グループ ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、スイス・マウンテン・ドッグ&スイス・キャトル・ドッグ、関連犬種		1
第3グループ テリア		1
第4グループ ダックスフンド		1
第5グループ スピッツ&プリミティブ・タイプ		1
第6グループ セントハウンド&関連犬種		1
第7グループ ポインティング・ドッグ		1
第8グループ レトリバー、フラッシング・ドッグ、ウォーター・ドッグ		1
第9グループ コンパニオン・ドッグ&トイ・ドッグ		1
第10グループ サイトハウンド		1
確認小テスト 解説		3
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	公衆衛生学Ⅰ（公衆衛生学、健康管理学、感染症学）	
担当教員の実務経験	動物病院にて看護業務の経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	30 コマ	2 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	動物と人間が良きパートナーであることができるよう、愛玩動物飼育の上で基本となる感染症項目を学ぶ。	
授業の到達目標	飼い主の義務、責務となる感染症予防とその必要性を理解する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	コンパニオン・アニマルの新健康管理学 愛玩動物飼養管理士2級教本 1巻2巻	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
犬と猫の適切な飼養管理方法		1
日常の健康管理 散歩・運動 排尿・排便 全身の手入れ 口腔衛生 犬の登録 ワクチンで予防できる病気 避妊 イヌ糸状虫症の予防 外部寄生虫の予防と駆除 腸管内寄生虫の予防と駆除		7
応急処置 動物の状態確認 外傷の応急処置 その他の応急処置 中毒 人工呼吸と心臓マッサージ		2
感染症とその予防 感染症 滅菌法と消毒法 消毒薬 院内感染とペットショップ内感染 代表的な感染症とその予防		6
ズーノーシス ズーノーシスを学ぶ意義 噛まれたり引っかかれたりして感染するズーノーシス 日常生活に関係の深いズーノーシス 食虫毒を起こすズーノーシス		6

その他の代表的なズーノーシス ズーノーシスの一般的な予防法	
幼齢動物・老齢動物の飼養管理 幼齢動物の飼養管理 老齢動物の飼養管理	4
確認テスト・問題集	4
合計	30
授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	飼養管理実習Ⅰ	
担当教員の実務経験	ペットショップで生体管理の実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	30 コマ	2 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	学校保有動物の適切な飼養管理を学ぶ。 直接管理することで生き物に対する責任感を身に付ける。	
授業の到達目標	学校保有動物に関して基本的な飼養管理が出来る。 衛生的な飼養環境を保つ。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに 日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点 以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	土・日・祝日・長期休暇の場合は当番制で犬舎管理を行う。	
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物飼養管理2級教本 コンパニオン・アニマルの新健康管理学	
授業上の注意点	少しでも異常が認められる場合は速やかに報告してください。	
授業計画（内容）		コマ数
学校保有動物の飼養施設の掃除の仕方を学ぶ。		14
管理記録台帳および、健康管理記録の記入の仕方を学ぶ。		2
適切な消毒方法を理解する。		2
飼養管理に必要な道具などを理解し、使いこなせるようになる。		2
学校保有動物を観察し、性格や行動を理解し接し方を学ぶ。安全なハンドリングができる。		2
学校保有動物の運動について理解を深める。安全に散歩・運動させることができる。		2
学校保有動物の健康管理について理解を深める。正常と異常の違いを知る。		2
健康維持のために、どのようなボディケアが必要かを理解する。		2
学校保有動物の食事について理解を深め、食事の与え方を学ぶ。		2
合計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職実務Ⅰ	
担当教員の実務経験	ファイナンシャルプランナー、コンサルティング会社経営	
対象学生	総合ビジネス科、情報システム科、ビジネス専攻科 医療福祉ビジネス科、ペットビジネス科	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講義 [○] ・ 演習 [] ・ 実習 []	
授業の概要	就職活動に向けてのモチベーションを高めていく	
授業の到達目標	講義、実習、模擬面接を通して今後の就職活動に生かしていくことができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
社会人としてのモチベーションの保ち方（事例も交えて）		1
コミュニケーションの取り方（コミュニケーションアップの4段階）		1
ペーシングの実践		1
社会人としての心構え		1
自己分析の仕方、自己PRの仕方		1
ジョハリの窓～実践～		1
会社組織を考える		1
社会人基礎力とは？		1
対人不安の克服の仕方		1
働き方を考える。上司とのコミュニケーションの取り方		1
社会人に必要な法律知識		1
クレジットカードの仕組みとカード社会の光と影～模擬面接～		1
面接に向けての配慮事項～模擬面接～		1
～模擬面接～		1
～模擬面接～ 総評		1
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	動物愛護活動Ⅰ	
担当教員の実務経験	秋田県動物愛護推進協議会委員を務める	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	19コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	動物愛護活動に取り組む。 秋田県動物愛護推進計画を理解する。	
授業の到達目標	秋田県動物愛護フェスティバルにおいて、イベントを盛り上げるための、ボランティアとして参加することにより、秋田県の取り組みならびに地域そのものと触れ合うことで、愛玩動物飼養管理士として行うべき普及啓発活動の意味とペット業界従事者に求められていることを理解する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	資料配付	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
秋田県動物愛護推進計画を理解する		2
いのちを繋ぐ取り組みについて理解する		
動物愛護フェスティバルについて理解する		
秋田県動物愛護フェスティバルについて概要を理解する		
秋田県動物愛護フェスティバルでのボランティアを計画する		4
犬猫保護団体について理解する		10
犬猫保護団体へのボランティアを行う（NPO法人いぬねこネットワーク秋田）		
秋田県動物愛護センターの見学実習		2
レポート		1
合計		19
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	動物愛護論 I	
担当教員の実務経験	ペットショップにて実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	16 コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [O] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	愛玩動物飼養管理士2級の取得を目標とし、愛玩動物の飼養管理はもとより愛護論関係学関係法令まで多岐にわたって学び、動物業界で働くうえでの専門知識を習得する。	
授業の到達目標	愛玩動物飼養管理士2級の取得をめざす。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第1巻	
授業上の注意点	スクーリングを受講します。 オンライン（eラーニング）方式に変更となっております。	
授業計画（内容）		コマ数
愛玩動物飼養管理士 公益社団法人日本愛玩動物協会の目的・事業 愛玩動物飼養管理士 愛護・適正飼養学 時代の変化を捉えた学習の必要性 ボランティア活動の捉え方 ボランティア活動をする上での注意点		2
生命倫理・動物福祉 生命倫理の概念 動物福祉の概念 利用目的により異なる関わり方 愛玩動物の福祉 産業動物の福祉 実験動物の福祉 展示動物の福祉		3
人と動物の関係学 人間と動物の関わり 人間の福祉と愛玩動物の関わり 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 動物愛護の今後の展望		2
動物生活環境学 飼養環境の整備の重要性の高まりとペット共生住宅 ペットツーリズムによる魅力あるペットライフに推進		2

動物愛護管理センターの実態と取り組み 動物の保護収容施設の設計および管理運営方法 ペットの教育・訓練施設 学校などにおける動物介在教育 ペット飼育のマナー 事故防止などのリスク対策	
ペット関連産業概論 ペット業界の歴史 現代におけるペット飼育の変化とペット関連産業の多様化 ペット関連産業分野の市場規模と消費動向 各産業分野の概要と最近の動向 商取引における関連法規 動物取扱業制度の歴史と概要	3
課題集を解く	4
合計	16
授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	動物栄養学Ⅰ	
担当教員の実務経験	① 一般社団法人日本ペット栄養学会に所属するペット栄養管理士。 知識をもとに、フードアドバイザーとして嗜好性および臨床の両面から愛犬の健康相談ならびにフード相談を行っている。また、独自レシピによる「ワンちゃんおせち」を提供している。 ② ペットショップにおいてペットフードの販売経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	基礎となる栄養素を理解する。 ペットフードに関わる法律と表示を理解する。	
授業の到達目標	栄養素の働きを理解し説明できる。 ペットフードの表示を読み解くことができる。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	ペットフードの栄養や表示に興味を持ち日常にも活かしてください。	
使用教科書・教材・参考書	一般社団法人日本動物看護職協会認定臨床栄養指導 認定動物看護師 試験教本 犬と猫の栄養学 愛玩動物飼養管理士2級教本	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
六大栄養素とその働き		
三大栄養素（タンパク質、糖質、脂質）と水		4
ビタミン・ミネラル		2
BCSとエネルギー		2
食事について		1
ペットフードについて		1
ペットフードの表示		2
公正競争規約に定められた必要な表示事項		
愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）		
手作り食について		1
確認テスト		2
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	動物栄養実習Ⅰ	
担当教員の実務経験	一般社団法人日本ペット栄養学会に所属するペット栄養管理士。 フードアドバイザーとして嗜好性および臨床の両面から愛犬の健康相談ならびに フード相談を行っている。独自レシピによる「ワンちゃんおせち」を提供してい る。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	18コマ	1単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	犬用のおやつ、アニバーサリー食を作る。	
授業の到達目標	飼い主さんが喜ぶような見た目に仕上げる。 犬が食べられないものを使わない。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を 総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未 満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	一般社団法人日本動物看護職協会認定臨床栄養指導 認定動物看護師 試験教本 犬と猫の栄養学 プリント、資料	
授業上の注意点	愛犬にあげる際は、体調とアレルギーに注意してください。	
授業計画（内容）		コマ数
学園祭企画		
ワンちゃんのおやつを作る（3種）		5
クリスマス企画		
ワンちゃんのクリスマスケーキを作る		5
お正月企画		
ワンちゃんのおせち料理を作る		5
レシピ、完成写真、愛犬の反応をレポートにまとめる		3
合計		18
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	動物看護学Ⅰ（動物機能形態学）	
担当教員の実務経験	①動物病院にて看護業務の経験がある。（愛玩動物飼養管理士） ②トリミングサロン 代表 ③ペットショップにて実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	60 コマ	4 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	犬と猫の解剖生理について学ぶ。	
授業の到達目標	哺乳類の体の仕組みの基礎を理解する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 1巻2巻 プリント	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
細胞・組織について		3
血液・リンパ・免疫について		3
循環器系の仕組みについて		5
消化器系の構造と働きについて		5
口腔内衛生管理について		10
泌尿器系について		3
運動器について		5
感覚器について		3
生殖器の形態と機能		3
人と動物の体の違いを理解する		5
動物種の体の違いを理解する		3
犬と猫の繁殖生理		2
遺伝学概論		1
テスト		2
課題集を解く		7
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	動物看護実践Ⅰ	
担当教員の実務経験	①動物病院にて看護業務の経験がある。 ②トリミングサロン 代表	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	18 コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学の知識と実践力を習得する。	
授業の到達目標	トリマーとしてもペットショップスタッフとしても役立つ基礎的な知識を身につける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	コンパニオン・アニマルの新健康管理学（エデュワードプレス）	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
基本保定法		2
身体検査とバイタルチェック		2
消毒法		2
投薬法		2
応急手当		3
口腔内衛生管理		6
チェックテスト		1
合計		18
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜ペットビジネス科＞

科目名	動物関係法令Ⅰ	
担当教員の実務経験	ペットショップにて実務経験がある	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	16 コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	法律の目的をはじめとする法律の内容を理解させると同時に、動物取扱業の従事者としての責任も授業を通して指導を行う。	
授業の到達目標	将来動物に携わる職業に就く者として、知っておくべき動物関係法令を学ぶことにより、社会と動物の関係を知り、その中でどう対応すべきか、必要とされることは何かを考え、自らの知識を深めると同時に、啓発の大切さも身につける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第1巻	
授業上の注意点	スクーリングを受講します。 オンライン（eラーニング）方式に変更となっております。	
授業計画（内容）		コマ数
法令とは		2
動物の愛護及び管理に関する法律		2
動物の飼養及び保管に関する基準		2
家庭動物等の飼養及び保管に関する基準		2
展示動物の飼養及び保管に関する基準		2
狂犬病予防法		2
身体障害者補助犬法		2
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		2
合 計		16
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<ペットビジネス科>

科目名	動物美容学Ⅰ	
担当教員の実務経験	ペットショップにてトリマーの実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	17 コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	・ グルーミングの必要性と目的、効果。 ・ グルーミングを行う上での犬体の構造、各種専門用語を覚える。 ・ 各主要犬種のペットクリップを学ぶ。	
授業の到達目標	基礎となるトリミングの知識を学び理解する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	グルーミングの基礎（一般社団法人 日本動物専門学校協会） プリント	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
犬の体と健康		2
グルーミングの目的、トリマーの心構えについて		2
グルーミングに対する専門用語について		1
グルーミングの流れ・注意点①		1
グルーミングの流れ・注意点②		1
クリッピング法の習得（足裏・腹部・肛門周り）		1
シー・ズー ペットクリップ		1
マルチーズ ペットクリップ		1
ヨークシャー・テリア ペットクリップ		1
プードル ペットクリップ（テディベアスタイル）		2
プードル ペットクリップ（ラム・クリップ）		2
シュナウザー ペットクリップ		2
合 計		17
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	特別講習Ⅰ	
担当教員の実務経験	動物業界にて実務経験がある。	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	本講座は、動物業界のさまざまな現場で活躍する外部講師を招いて実施する特別講習です。トリミング・ペット防災・しつけ・看護・接客・行動学など多岐にわたるテーマを通じて、学生が現場で必要とされる知識・技能・実践力を高めることを目的とします。講義形式や実習形式を組み合わせながら、業界の「今」を体験できる機会とし、卒業後の進路選択や職業意識の向上にもつなげます。	
授業の到達目標	現場で求められる幅広い専門知識や技術を学ぶ	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験・レポート）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	資料配布	
授業上の注意点	各回のテーマ・講師は業界の状況や日程調整により変更となる場合があります。詳細はその都度案内します。	
授業計画（内容）		コマ数
ペット防災・災害対策（避難所開設・支援訓練、ペット防災基礎講習）		5
復習課題（レポート、展示物の作成）		3
コミュニケーション力講習		5
復習課題（レポート）		2
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ITの職業と情報倫理	
対象学生	経営情報科、情報システム科、こども総合科、医療福祉ビジネス科、総合ビジネス科、ビジネス専攻科、ペットビジネス科	
授業時間数・単位数	10 コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	専門学校入学直後の導入科目として、これからの学習への動機付けと、安全のための情報モラル教育を行う。	
授業の到達目標	情報化社会において、被害者や加害者にならないための知識を学び、情報モラルを身につけ、情報機器を有効に活用できるようになること。	
成績評価方法と基準	出席状況及び科目試験の成績により評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	ITの職業と情報倫理（S C C：学習ノート）	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
(1) I Tと応用分野		1
(2) IoTとAI		1
(3) I Tの職業と資格		1
(4) 悪質商法の被害防止		1
アンケート、懸賞、割のいいアルバイト、からローン地獄にはまる例から学ぶ。		
(5) 個人情報とパスワード管理		1
個人情報の大切さ、顔の見えない付き合い、出会い系以外にもある危険。		
(6) 不当請求と迷惑メール対策		1
迷惑メールはどこから来るのか。こんな請求、払う？払わない？個人情報の流出。		
(7) メールや掲示板のマナーと法律		1
気軽な発言や画像送信で名誉毀損・プライバシー権侵害に。誰が書き込んだかはこうしてわかる。		
(8) 著作権		1
やっていいことと悪いこと。		
アニメ、音楽、「みんなやってるから」の大間違い、違法と合法の境目		
(9) 逮捕されるネットユーザたち		1
他人のI Dでゲームをして逮捕、冗談のつもりが犯行予告騒ぎ、など。		
(10) コンピュータウイルスと対策		1
感染するとどうなるのか。感染しないための予防策を学ぶ。		
合計		10
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職実務Ⅰ／ビジネスマナー	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	社会人として必要となるビジネスマナーの基礎を学ぶ。 職種、企業に対しての理解を深める。	
授業の到達目標	ペット業界に求められる基礎的社会人能力を身につける。 就職に対する目的意識を明確にする。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、科目に対する理解（試験）、出席率、提出物ならびに日常の授業態度等を総合的に判断し、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。	
準備学習・時間外学習	常に就職に対しての意識を高くもつこと。	
使用教科書・教材・参考書	動物系専門学校生・トリミングスクール生のための コミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス（エデュワードプレス）	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
挨拶と掃除と“5S”の基本		1
コミュニケーション・マナー		
身だしなみ、あいさつ、敬語		1
電話応対、聞く力		1
プレゼン力		1
キャリア・ガイダンス		
自己分析		1
自己紹介（自己PR）		1
希望職種研究		1
希望企業研究		1
フィールドワーク		1
キャリアプランニング		1
就職活動について		1
インターンシップについて		1
ビジネスマナー実習（外部講師）		3
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ドッググッズⅠ	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	愛犬と飼い主さんが喜んでくれるよう、心を込めて愛犬の身に着けるグッズをリボンを中心として制作する。	
授業の到達目標	リボンの作り方と素材の扱い方、安全安心なグッズ制作ができる。	
成績評価方法と基準	各課題評価80%、授業態度出欠席20%	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）	コマ数	
リボン制作材料の準備、リボンA作り方の説明と師範		1
実習 リボンA制作		2
リボン仕上げの説明と師範		1
実習 リボンA仕上げ		2
リボンB作り方の説明と師範		1
実習 リボンB制作		2
ミニハットの作り方の説明と師範		1
実習 ミニハット制作		2
バンダナの作り方と師範		1
実習 バンダナ制作		2
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	校外研修 I	
対象学生	ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	・ 1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	校外施設および外部イベントへの参加や見学を行う	
授業の到達目標	業界全体への理解を深める	
成績評価方法と基準		
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	状況により実施を判断します。 通常の実施が出来ない場合には代替学習への切り替えを行います。	
授業計画（内容）		コマ数
オリエンテーション		5
参加・見学		8
レポート提出		2
合計		15
授業単位数		1